

# 令和元年度実証実験 進捗状況

令和元年12月26日

次世代モビリティサービスの在り方に関する検討会  
事務局

# 高齢者の移動手段の確保

# ①「高齢者の移動手段の確保」(実証実験概要)

日田市営上津江・中津江デマンドバスに、MONETシステムを導入し、利便性や効率性を向上

## 現状課題(導入背景)

- ・日田市において、「高齢者の移動確保」として、デマンドバスの効率的運行(MONETシステム導入)を検討していたが、費用面や効果が不透明であるため取りかかりが出来ない状態だった。
- ・こうした中、検討会が発足。移動課題の解決を前向きに検討していた日田市もこれに参加。
- ・日田市において、検討会の実証実験の活用も見据え、MONET Technologies(以下、モネ社)と実証に向けた覚書を締結。
- ・日田市とモネ社の動きを踏まえ、検討会としても実証実験の形で取り組む。
- ・なお、実証後は、同様の課題を抱える地域への横展開を見据えデータ分析を実施予定。

## 実施体制

- ・日田市とモネ社で覚書を締結。日田市が所有(津江タクシー運行)するバス4台にシステムを搭載する。
- ・実証費を負担する「検討会(県)」と、「日田市」、「モネ社」、さらに日田市から運行を受託している「津江タクシー」で連携し、約1ヶ月半の実証を予定。
- ・実証後は、持続性等を判断するため及び横展開を図るため、検討会事務局で結果を分析予定。



## スケジュール

12月16日	日田市×モネ社で覚書締結
協定後～1月上旬	利用者へ周知・運転手のトレーニング
1月中旬～2月下旬	<b>実証実験の実施(約1ヶ月半)</b>
3月中旬	検討会にて実証実験の結果報告

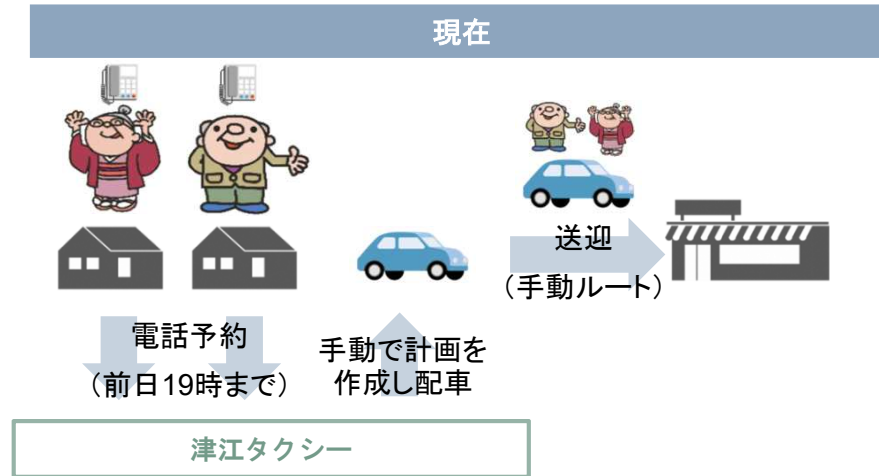
## 実証エリア

日田市上津江・中津江地域



# ①「高齢者の移動手段の確保」(MONETシステム)

## 【現状】日田市営デマンドバス（手動管理）



### ■ 利用者

- 前日19時までに予約しないとイケない
- 電話のみ予約対応。確実に予約できたか不透明
- 正確な車両到着時刻が不透明

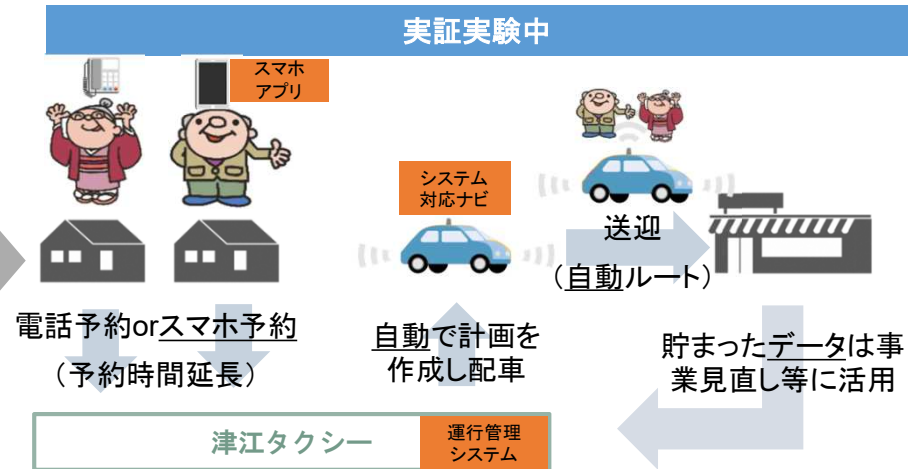
### ■ タクシー事業者

- 電話受付+紙ベースで顧客情報を管理、社長が配車計画作成
- 急な予約の対応困難(前日予約が原則+至急の調整困難)
- 日報・月報をまとめる手間が発生

### ■ 日田市

- 利用者について「延べ人数」しか分からず、「実人数」が不明
- 利用者増加が困難な状況

## 【実証】モネシステムを導入（自動化）



### ■ 利用者

- 受付自動化により**予約時間の延長**が可能
- スマホアプリで予約状況が分かる
- スマホ画面に車両位置が表示される

### ■ タクシー事業者

- 顧客情報がデータベース化され、**誰でも配車計画の作成可能**
- 急な予約も、車両の端末にリアルタイムで反映
- 日報・月報の一部が自動作成

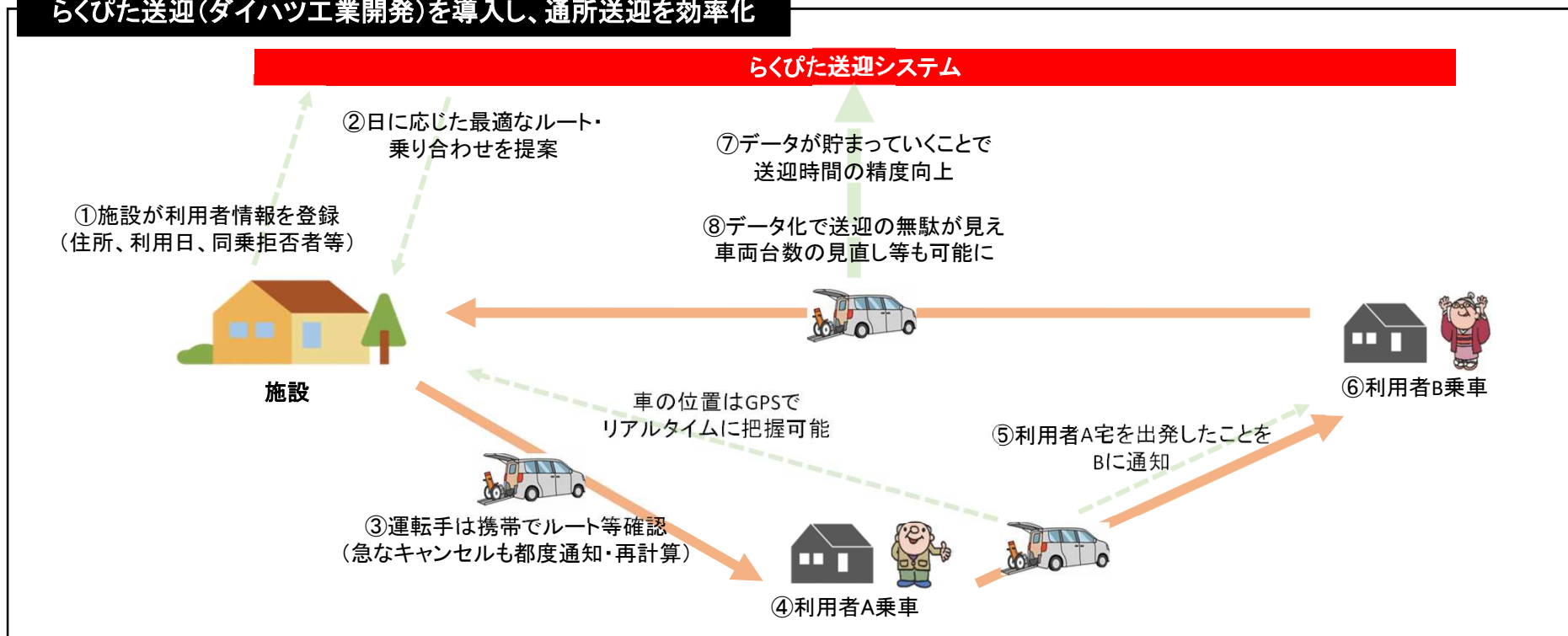
### ■ 日田市

- 詳細な外出回数等データ集まり、次なる対策の検討が可能
- 利便性向上による**利用者及び収入の増加**が期待

# 福祉施設の通所送迎効率化 (施設間連携に向けて)

## ②「福祉施設の通所送迎効率化(施設間連携に向けて)」

らくびた送迎(ダイハツ工業開発)を導入し、通所送迎を効率化



### 導入施設

#### 【導入施設】

・高齢者施設(臼杵市、1法人2施設)及び、  
障がい者施設(大分市、2法人2施設)で調整中

#### 【スケジュール】

・令和元年12月～令和2年1月上旬 契約関係締結  
・令和元2年1月中 開始予定

#### 【導入背景】

・福祉施設は必要性は高まっているが人手不足の状況の中で、送迎のコスト削減が必用。  
・送迎計画の作成は毎日の業務のためかなりの負担。自動化出来れば業務効率化に繋がる。  
・事業継続性の観点から、誰でも送迎計画が作れるようにする必要あり。

### 今後の可能性(施設間連携)

#### 【連携の可能性】

・施設単体での導入効果等も踏まえながら、施設間で連携した通所送迎についても今後検討を行う予定。

A施設利用者乗車



A施設利用者降車



B施設利用者乗車



B施設利用者降車

